

# とちぎ市議会だより

TOCHIGI CITY ASSEMBLY NEWS

第8号  
2011.11.18

発行／栃木市議会 編集／議会広報紙発行特別委員会 TEL.0282-21-2253

## 祝 栃木市・西方町 合併記念式典



西方なかよしこども園の子どもたちによりダンスと歌が披露されました。(栃木市・西方町合併記念式典)

平成23年9月定例会が、9月2日から27日までの26日間の会期で開催されました。

本定例会では、西方町との合併に伴う条例の改正、人権擁護委員の候補者の推薦など、議案50件が提案されたほか、平成22年度の各会計決算の認定が12件、健全化判断比率及び資金不足比率などの報告が8件ありました。

一般質問は、6日から9日の4日間に16人の議員が登壇し、市政全般にわたる質問が行われました。

一般質問後、合併関連以外の議案等は所管の常任委員会に付託のうえ詳細な審査を行い、最終日に各常任委員会の審査結果に基づき採決が行われ、議案については、全議案とも原案どおり可決し、請願・陳情については、採択が2件、継続審査が1件となりました。

## 目次

9月定例会の 主な議案	・・・2
一般質問	・・・3～7
常任委員会審査結果	・・・8～9
討論	・・・10
議案等審議結果	・・・11～12
請願陳情他	・・・13
議会のうごき	・・・14

# 9月定例会の主な議案

9月定例会では、補正予算9件、条例制定28件、条例の一部改正2件、工事請負契約の締結等3件、人事案件2件、その他6件、平成22年度決算の認定12件、請願2件、陳情1件の審議が行われました。

9月定例会で提案された主な議案等についてお知らせします。

## 表彰条例の制定

栃木市に対し、特に功勞等のあつた方を表彰するため、その実施に関し必要な事項を定めるものです。

## 企業立地促進条例の制定

市内への企業の立地を促進するため、交付要件に該当する企業に対して、固定資産税相当額を交付するというものです。

## 東日本大震災に対応するための栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の制定

国の例に準じて東日本大震災の被災地の復興支援活動に参加しやすい環境をつくるため、東日本大震災に対処するための栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例に特例を設けるものです。

## 市道改築工事委託契約の締結

市道〇ー157号線改築工事について、工事の委託契約を栃木県と締結するといふものです。

### 契約の相手方

栃木県知事 福田富一

### 契約金額

1億9千800万円

## 総合体育館耐震補強工事請負契約の締結

栃木市総合運動公園内の総合体育館主競技場棟及びサブ競技場棟の耐震補強及び改修工事の請負契約を落札業者と締結するというものです。

### 契約の相手方

(有)山野井組

### 契約金額

1億8千7万5千円

### 工事概要

補強スラブ増設  
鉄骨筋かい増設  
天井等改修



耐震補強工事が行われる総合体育館

## 西方中学校校舎建築工事請負契約の締結

西方中学校校舎建築工事の請負契約を、栃木市・西方町・落札業者の三者で締結し、合併後に工事を進めるといふものです。

### 契約の相手方

川上・ワタナベ土木

特定建設工事共同企業体

### 契約金額

10億1千325万円

### 工事概要

鉄筋コンクリート造  
3階建  
延床面積3千465・25㎡

## 消防ポンプ自動車の購入

配備中の消防ポンプ自動車3台(栃木方面隊第5分団、第9分団第3部、第10分団第2部)が老朽化したため、買い換えるものです。

### 購入先

(株)野口ポンプ製作所

### 取得予定価格

3千124万8千円

## 人権擁護委員の推薦

人権擁護委員23名のうち、石原謙太郎氏が本年12月31日をもって任期満了となるので、引き続き推薦することについて同意したものです。

## 鹿沼医療圏における休日夜間急患診療事務の委託

西方町との合併に伴い、鹿沼医療圏における休日夜間急患診療に関する事務の管理や執行を鹿沼市に委託するといふものです。

同様に休日急患歯科診療事務についても委託することになりました。

## 西方町との合併に伴う条例の制定

西方町内にある町有施設について、栃木市として管理を行うため、各施設の設置及び管理に関する条例を制定するといふものです。

# 市政に対する一般質問

**氏名** 晃 議員  
**所属** 新生クラブ

○都賀西方PAへのスマートIC設置について

## 都賀西方PAへスマートIC設置の取り組みは

西方町と合併した後の新栃木市にとって、スマートICは市北部地区発展・地域活性化のために重要な北の玄関口になるものと考えられる。このチャンスを活かすため、是非前向きに取り組むべきと考えますが、市長の考えを伺う。

**答弁** 鈴木市長

## 地域活性化に有効である

新市の西方地域、都賀地域の活性化の観点からも、スマートインターチェンジの整備は有効だと考えており、特に宇都宮西中核工業団地へのアクセス性が向上することによって、企業立地の促進と生産活動の活性化に効果が上がるものと期

待している。

今後、スマートインターチェンジの設置のために、地区協議会の設立に向け、県を中心とした勉強会を通じて、できることを積極的に行い、この地域の優位性を強く訴えていきたいと考えている。

※スマートインターチェンジとは、ETC専用のインターチェンジで、主にパーキングエリアなどを利用して設置されています。

**広瀬 義明 議員**  
平正会

○先人の知恵を活用した行政運営について

- ・「入るを量りて出するを為す」
- ・「温故知新」
- ・「米百俵」

## 財政運営にあたっての基本的な考え方は

「入るを量りて出するを為す」とは、現代的に言え

ば、プライマリーバランスを取れということになる。次の世代にツケを残さない

ためにも、栃木市の財政運営にあたっては、この考えを念頭に置いた財政運営が求められるが、どのように考えているか伺う。

**答弁** 鈴木市長

## 健全財政を前提とした市政運営に努める

経費の削減や事務事業の見直し等で財源の縮減をはかったり、企業誘致や人口増加策、滞納整理の強化などで財源の増加を少しでも図ることをこれまで以上に強化しなければならぬ。また、いざというときの

ために、財政調整基金や減債基金への計画的な積み立てなどで財源を確保し、やるべきことをやりつつ、持続可能な財政運営にも努めていかなければならない。財政運営上のプライマリーバランスは重要であるので、これからも健全財政を前提とした市政運営に努めていきたいと考えている。

**慶野 昭次 議員**  
新生会

○福田屋百貨店栃木店の利活用問題について

## 市役所機能の移転は

昨年の福田屋百貨店の閉店報道を受け、商工会議所と商店街連合会の連名により、福田屋百貨店への市役所サービス機能の移転と、1階部分への商業施設の誘致の要望がなされ、その後、市役所としての利活用の調査がなされたが、その結果はどうであったのか。

**答弁** 鈴木市長

## 耐震強度等は問題ない

昨年12月に福田屋百貨店より栃木店閉店の決定の報告と店舗部分の市への無償譲渡等の要望をいただき、議会、商工会議所、学識経験者などで組織する福田屋百貨店閉店対策委員会を立ち上げ、店舗の譲渡条件の確認や建物の利活用について検討してきた。



福田屋百貨店跡の活用は

また、東日本大震災前には、私自身が宮城県石巻市を訪問し、石巻市長をはじめ、転用に携わった当時の担当職員から新市庁舎建設の経緯、利活用の様子、市民の反応等を伺ってきた。

今年度に入ってから、福田屋百貨店栃木店の建物の利活用について、調査を実施し、現在、その報告内容の点検を行っているところであるが、報告によれば、市役所に使っていくには、耐震強度、構造等は問題ないということなので、できるだけ早く方向性を出せるよう最善の努力をしていきたいと考えている。

大阿久岩人 議員  
新生クラブ

- 栃木市歯科医療について
- 休日歯科診療について
- 学校歯科医の適正配置について
- 旧福田屋への本庁舎移転について

現在の市庁舎の課題は

現在の市庁舎には、どのような課題があるのか。また、福田屋百貨店跡を市庁舎として活用した場合、中心市街地のまちづくりにとどのような効果があると考えているのか伺う。

答弁 鈴木市長

安全性などの課題がある

現在の市庁舎は、築50年以上経過し老朽化しているうえ、建物や敷地面積の狭さから機能分散をせざるを得ない状況にあり、旧栃木市の頃より新庁舎建設の検討がされ、併せて基金の積み立てが行われている。また、平成18年に行った簡易耐震診断においても、

2次診断が必要及び補強が必要との結果から、老朽化による市庁舎の安全性の確保については、喫緊の課題となっている。

福田屋百貨店跡栃木店は、現在の本庁舎、別館、福祉庁舎以上の床面積を確保していることから、経費や条件の整理が整い、市民の皆様の理解が得られれば、市庁舎としての課題解決を図り、中心市街地の賑わいの一助になる可能性は大きいと考えている。

海老原 恵子 議員  
新緑

- 地域医療の再構築は
- 地域医療に対する市長の考えは
- 東陽中学校武道場建設は
- 野州大塚駅北側の排水整備について

地域医療の取り組みは

本市においては、二次救急を守るため、医療機関の再編を含む取り組みがされているが、地域医療に対する市長の考えを伺う。

答弁 鈴木市長  
積極的に取り組んでいきたい

現在、急性期から、慢性期、そして福祉施設や在宅生活に至るまで、地域内完結型の医療体制をつくるため、関係者と協議をしているが、これは、市民の皆様が安心して暮らせる「医療や保健福祉の充実した住みやすいまち」にしたいとの思いから進めているものである。

そのためにも、まずは3病院の統合再編を何としても実現させ、また、将来にわたっても安定した経営体制を構築できるよう、市として全面的に支援していきたいと考えている。

また、地域医療を守るためには国や県の財政的な支援も重要であるので、現在も市長会等を通じ、国や県に要請活動を行っているが、今後も継続し、更に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

長 芳孝 議員  
黎明

- 福田屋百貨店跡地利用について
- 福島原発事故による農産物助成について

まちの駅の開設は

市民や観光客が気軽に立ち寄り情報交換ができる場として、福田屋百貨店跡の1・2階に、まちの駅「新鹿沼宿」のようなものを開設してはどうか。

答弁 鈴木市長

検討委員会などで検討していきたい

「まちの駅」は、市民や観光客に地域情報を提供し、人と人との出会いと交流を促進するとともに、まちづくりの拠点として、空洞化が懸念される市街地の活性化に効果が期待できるものである。

中心市街地の栃木大通りには、とちぎ歳の街観光館、交流機能を持った観光案内所、また今年8月にオープンした小山高専のサテ

ライトキャンパスなどがあり、「休憩機能」「案内機能」「交流機能」「連携機能」を備えており、十分「まちの駅」の機能を有していると考えている。

福田屋百貨店の利活用については、商工会議所、商店会連合会、地元自治会から、1階部分に集客力のある商業施設としての利用が要望されているので、まちの駅構想も含めて、検討委員会などで検討していきたいと考えている。

福田 裕司 議員  
栃木創志会

- 栃木市公用車の適正化について
- 地域公共交通試行運転実施計画について

公用車の適正化に向けた今後の取り組みは

市の事務事業全般にわたるその業務に使用するため所有又は保有する公用車は多種多様であるが、リース方式の導入の検討など、公用車適正化に向けた今後の取り組みについて伺う。

**答弁** 川島理財部長

**負担の軽減が図れるよう  
適正な管理に取り組み**

西方町との合併後、保有する車両台数が適正かどうか、稼働状況の調査を行い、検証したいと考えており、調査の結果、過剰であれば廃車も含め、処分などを行っていきたい。

車種の見直しについては、軽自動車や低燃費車の導入も資源問題や環境対策の面から大変重要なことでもあり、積極的に取り組んでいかなければならない。

また、リース方式の導入にあたっては、メリット、デメリットについて、十分精査した上で対応していきたいと考えている。

公用車は、行政サービスを効率よく進めるためには、なくてはならないものであるが、購入費や維持費が大きな財政負担となることから、負担の軽減が図れるよう適正な管理に取り組みしていきたい。

**萩原 繁 議員**  
新生クラブ

- 原発事故の栃木市の放射能汚染について
- 公共交通について
- 渡良瀬遊水地の防災について

**コミュニティバスの本格的な運行は**

今回のコミュニティバスの運行は藤岡地域の住民の強い願いであるが、現在の試行運行から本格的な運行に移行するには、どの程度の利用率が必要であるのか何う。



試行運行を開始したコミュニティバス

**答弁** 富田生活環境部長

**運行評価を実施する**

公共交通試行運行期間において、検証項目や目標値等を設定し6カ月ごとに運行評価を実施し、見直しを図りながら平成26年4月からの本格運行につなげていきたいと考えている。

コミュニティバスの見直し基準は、平均乗車密度が1というものであり、具体的には1人当たりの平均運賃収入を200円と仮定した場合、1便当りの利用者数が2.3人で、1日の平均利用者数が44.5人と想定されるため、この基準に該当する路線については、運行ルートやダイヤ、停留所等の見直しを行い、改善されない路線は、廃止について検討することになる。

地域公共交通システムを持続可能なものとするには、地域で公共交通を支えるといった意識づくりなどが必要であるので、市民の皆様への十分な周知に努めていきたい。

**天谷 浩明 議員**  
栃木創志会

- 放射線が与える影響は農業生産者への対応と、公園等における対応は
- 事業の進捗状況は
- 上川原地区開発計画は
- 病院の統合再編は

**上川原地区の進捗状況は**

千塚町上川原地区開発計画については、調査設計業務、関連機関協議、環境アセスメントが開始されていると思うが、現在の進捗状況はどのようになっているか何う。

**答弁** 中田産業振興部長

**環境影響評価などを進めている**

現在、本地区を市街化区域に編入するための協議や環境影響評価などを進めているところである。

なお、環境影響評価については、昨年度、評価項目や現況調査の方法などを定めた「方法書」を作成し、栃木県環境影響評価技術審査



千塚町上川原地区

会の審査を経て、自然環境や生活環境に関する現況調査に着手したが、この調査の中で、本事業地周辺において、猛禽類の「サシバ」の生息が確認されたことから、当初予定していた調査期間を延長する必要があると考えている。

これらのことにより、事業の全体スケジュールにも影響することになるが、栃木県環境影響評価条例等の関係法令の規定に従い、適切に対応しながら、円滑な事業の推進を図っていききたいと考えている。

千葉正弘 議員  
栃木創志会

○「行政報告」を議会に対し定例的に行うことを求めることについて  
○「e都市ランキング」の結果の感想と今後の情報化計画について

情報の共有化は

市の各種事務事業の計画やその進捗状況、更にはその時々々の行政課題などについて、議会や市民と情報を共有しながら進めることが大切であると考えているが、市長の考えを伺う。

答弁 鈴木市長

重要なことと認識している  
議会や市民との情報の共有化は、マニフェストに掲げた「真の市民主権」確立に向けた重要な手段の一つであると考えているため、重要な事業への取り組みや、法定、任意を問わず諸計画策定の際には、市民や議会への丁寧な説明を心がけている。  
特に議会に対しては、重要な事業を進めていく際に

は、着手前に予算概要と主要事務事業の説明を行い、事後も決算状況と主要事務事業の報告を行ってきた。

また、市民の皆様に対しては、予算概要を全世帯に配布しており、「市民協働のまちづくり」のためにも、議会及び市民の皆様との情報の共有化は重要なことと認識している。

内海成和 議員  
栃木創志会

○オリン晃電社跡地問題について  
○側溝清掃について  
○談合問題について

オリン晃電社跡地問題への対応は

オリン晃電社跡地問題については、6月議会において調査結果を報告し百条委員会を解散した。これを契機に栃木市が変わっていくには、執行部の対応にかかっているが、どのように対応していくのか伺う。

答弁 鈴木市長

年内に対応方針を決定する

現在、跡地について土壌汚染の調査を行っており、今年度末には調査結果が出ることから、この土地をどうすべきかは、汚染状況を確認して対処すべきものと考えている。

また、責任追及に係る法的措置については、複雑な問題を整理する必要があることから、任期付職員として採用する法律の専門家の判断などをいただきながら慎重に対応し、年内を目標に対応方針を決定していきたいと考えている。

土地開発公社については、保有しているオリン晃電社跡地の整理がつきしだい解散する方向で調整を進めているところである。

大出孝幸 議員  
公明党議員会

○小中学校教室への扇風機  
の設置について  
○高齢者世帯における熱中  
症対策について  
○保育園の統合について  
○入園の手続きについて

保育園の統廃合計画は

公立保育園は老朽化が進んでおり、特に、いりふね、そのべ、ぬまわだ保育園は老朽化が著しいことから、合併前に統廃合の検討を行ったと思うが、その後どうなったのか伺う。



老朽化が進む「いりふね保育園」

答弁 飯塚保健福祉部長

整備基本計画を作成する

多くの保育園が老朽化していることから、早急な対応が必要であるため、新市における「栃木市次世代育成支援対策行動計画」を策定し、この計画の趣旨に基づき、合併前のそれぞれ地域の保育園整備の状況と方針を踏まえ「栃木市保育園整備基本計画」を作成しているところである。

白石幹男 議員  
無党派

その中で、栃木地域においては、「いりふね」「そのべ」「ぬまわだ」保育園の対応が最大の課題であると考えており、また、現在3園で実施していない「0歳児預かり」「延長保育」「一時預かり」などのサービスの充実を図っていくには、新たな敷地を選定した上での統合保育園の整備が必要であると考えている。

○放射能汚染対策について  
○脱原発、再生可能エネルギーへの転換について  
○工事請負契約の改善  
○百条委員会報告書への対応について

子どもが近づく場所の放射線量調査は

放射線被曝の影響は、大人より子どもの方がより大きいとされており、被爆から守るため、子どもが近づく場所を集中的に放射線量の調査をすべきだと思いが対応について伺う。

**答弁** 鈴木市長

**きめ細かく対応したい**

市内の全ての小中学校、保育園、幼稚園における放射線量の測定は、県や市役所本庁舎でのモニタリングの結果などを参考に、月1回職員が巡回して測定してきましたが、線量計を追加配備したことで、9月より、施設ごとに週1回測定することとした。

このことにより、通学路や遊具などの子どもたちが近づく場所や、ホットスポットの疑いがある場所についても、きめ細かく対応することが可能となったので、公立小中学校、保育園のほか、民間の幼稚園、保育園についても空間放射線量の測定をお願いしたところである。

**入野登志子議員**

公明党議員会

○斎場のあり方と今後の対応について

○防災対策について

○被災者支援について

**要援護者名簿の見直しは**

災害が発生したとき、災害弱者と言われる高齢者や障がい者の避難を手助けするため、合併前から旧市町で作成されていた要援護者名簿について、洩れている人の有無や避難経路など、見直しするところはなかったのか伺う。

**答弁** 飯塚保健福祉部長

**地域防災計画と連携を図る**

東日本大震災の際には、民生委員、児童委員の皆さんに、高齢者や障がい者等の安否確認をしていただいたが、要援護者名簿と避難支援個別プランを活用することにより迅速な対応などができるかと考えている。

また、今年度、緊急時の連絡や見守り支援に活用するため、高齢者実態調査を行ったので、これらの情報を登録するほか、要援護者名簿を市内全地域で統一していきたいと考えている。今後は、見直し中の地域防災計画と連動を図り、地域ぐるみで要援護者に対す

る迅速な安否確認や支援活動ができるような仕組みを構築していきたい。

**梅澤米満議員**

黎明

○上下水道事業について

○道路行政について

○藤岡駅西地区の住宅開発について

**上下水道工事の舗装復旧は**

上下水道工事後の舗装の復旧が行われたまま、何年か経過しても本復旧されていない場所が段差となっており、老人や子どもにとって危険な場所となっており、どのような対応を取っているのか伺う。

**答弁** 田中上下水道部長

**計画的に本復旧を実施していきたい**

水道事業においては、舗装復旧の危険な箇所については、早急に対応できるような体制をとっている。

また、仮復旧、本復旧については、昨年までは上水道工事、下水道工事の道路の復旧の際に、それぞれの

課で道路管理者との協議の中で行っていた。

今年度から、水道課、下水道課の組織が一本化されたので、今後行う工事や仮復旧の箇所については、安全確認を行い、道路管理者と協議し、計画的に効率的な本復旧を実施していきたいと考えている。

**関口孫一郎議員**

黎明

○ラムサークル登録について

- ・市長の基本的な考えは
- ・遊水地の治水について
- ・地元の理解について
- ・意見のとりまとめは
- ・要望・条件について



広大な渡良瀬遊水地

**住民の賛意が得られた場合の要望や条件は**

渡良瀬遊水地のラムサークル条約の登録について、仮に藤岡地域の住民から賛意が得られた場合、登録申請を行うにあたって、要望や条件を付ける考えがあるのか伺う。

**答弁** 鈴木市長

**個別に確認しておく**

もし地元の賛意が得られて登録となった場合には、治水を担保するための掘削、ヨシ焼き、バルーンフェスタ、ウォータースポーツ、花火、さらには総合計画に盛り込む予定の渡良瀬遊水地の健全な活用などができるということを個別に確認し、記録化し公文書として残しておくことが必要であると考えている。

また、仮に登録となった場合、トラブルについても環境省と国交省に相談窓口を設置していただくよう要望するほか、市としても身近な相談窓口を設置していきたいと考えている。

# 常任委員会審査結果

## 総務常任委員会

日付 9月12日(月)

場所 本庁舎正庁

### ○付託議案

一般会計補正予算、条例の制定2件、条例の一部改正2件、財産の取得(消防自動車)、平成22年度歳入歳出決算(一般会計他1件)、請願1件

### ○審査結果

議案は、いずれも討論なく全会一致で、原案のとおり可決又は認定すべきものと決定し、請願は、採択すべきものと決定した。

### ○質疑応答

#### 一般会計補正予算

**質** 地域版プラットフォーム事業とは

**答** NPOや企業等の関係者を構成員とする交流の場を立ち上げ、地域の課題を解決していく事業である。

#### 税条例等の一部改正

**質** 過料を3万円以下から10万円以下に上げる影響は

**答** 現実的に過料を科した例は、今のところない。

#### 財産の取得(消防自動車)

**質** 年平均の更新台数は

**答** 経年劣化や老朽化を考慮し、年平均にすると3台になる見込みである。

#### 平成22年度一般会計歳入歳出決算

**質** 総務費の需要費の執行率の低い理由は

**答** 合併前の旧1市3町の予算を合算したものであり、事務事業が一元化されたため不用額が生じた。

#### 質 庁舎別館耐震2次診断の結果は

**答** 本来あるべき耐震の5分の1程度しかないという状況であった。

#### 質 市営住宅使用料の収入未済額に対する対応は

**答** 債権回収対策本部に所管課から債権回収プランを提出しており、そのプランを基に未収金整理を進める。

## 藤岡町下宮地区の埼玉県加須市への編入を求める請願

### 意見

多くの住民の意見を反映させるといふ意味でも採択したいが、請願が採択されても編入の実現は大変なので、住民の努力と行政の尽力をお願いしたい。他同様意見あり。

### 意見

賛成の方の地道な活動が眼に映り、継続審査としても進展がないと考えるので採択すべき。他同様意見あり。

## 民生常任委員会

日付 9月13日(火)

場所 本庁舎正庁

### ○付託議案

各会計補正予算(一般会計他4件)、平成22年度歳入歳出決算(一般会計他5件)、請願1件、陳情1件

### ○審査結果

議案のうち、補正予算(一般会計、国保、介護)及び平成22年度歳入歳出決算(一般会計、国保、老人保健、介護)については、討論なく全会一致で、原案のとおり可決又は認定すべきものとし、補正予算(後期高齢者)及び平成22年度歳入歳出決算(後期高齢者)については、討論採決の結果、賛成多数で、可決又は認定すべきものと決定した。請願は採択すべきものと、陳情は継続審査とすべきものと決定した。

### ○質疑応答

#### 一般会計補正予算

**質** デマンドタクシー運行をリリースに変更した理由は

**答** 国の補助制度の変更で歳入減が見込まれたため、本年度の歳入と歳出のバランスをとるために変更した。

#### 質 企業の土日勤務に伴う休日保育を利用した数は

**答** 8月末現在、学童保育は286名が利用し、保育園の日曜日利用は133名である。

#### 介護保険特別会計補正予算

**質** 西方地域での介護認定審査会の開催頻度は

**答** 月1回となっていたが、合併後は全市域の審査会になるので頻度が増える。

## 平成22年度一般会計歳入歳出決算

### 質 罹災救助基金積立金の内容は

**答** 旧藤岡町にあったものを新市で引き継いだもので、非常災害の被害者を救助するものである。

### 質 子育て応援企業登録制度事業の実績がない理由は

**答** PRは行っているが、希望事業所がなかったため、さらにPRしていきたい。

### 質 自殺予防事業の内容は

**答** 心の相談教室の他、自殺予防対策講演会などを実施している。

### 渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録に関する陳情

**意見** アンケート調査や今後の活動を判断材料にして議論する必要があるため継続審査としたい。他同様意見あり。

### 意見

登録条件として、河川法、鳥獣保護法で担保するとされており、説明を聞けば聞くほど治水に影響を与えないと思うので採択すべきである。他同様意見あり。



産業教育常任委員会

日時 9月14日(水)  
場所 本庁舎正庁

○付託議案

一般会計補正予算、企業立地促進条例の制定、平成22年度一般会計歳入歳出決算

○審査結果

議案のうち、補正予算については、討論なく全会一致で原案のとおり可決すべきものと、企業立地条例の制定及び歳入歳出決算については、討論採決の結果、賛成多数で可決又は認定すべきものと決定した。

○質疑応答

一般会計補正予算  
質 ふるさと雇用再生・観光情報誌作成発信委託料の事業内容は

答 県のふるさと雇用再生特別交付金を活用し、旧1市4町の情報を集め、首都圏に情報発信をしていく。

質 文化財山車収蔵庫建築費補助金の収蔵庫の数と補助割合は  
答 県指定文化財の山車が6台で山車会館に収蔵、市指定が3台で、内2台は収蔵庫があり、今回造る収蔵庫が最後となる。補助率は2分の1で上限が200万円。

質 寺尾地区小学校再編事業の今後の予定は  
答 今回耐力度調査を含めた診断と設計業務を行い、年明けの耐力度調査の結果が出てから相談したい。

企業立地促進条例の制定  
質 交付要件の従業員の常時雇用の状態とは  
答 期間の定めのない従業員、定めがあっても更新され事実上定めのないものと同等なものと認識する。

質 県内ではトップクラスの内容ということだが、もつと前進させる考えは  
答 必要に応じて検討していきたい。

平成22年度一般会計歳入歳出決算  
質 藤岡と都賀の農業公社の役割は  
答 農地集積円滑化事業や農作業の受委託事業の仲介などの活動である。

建設常任委員会

日時 9月15日(木)  
場所 本庁舎正庁

○付託議案

一般会計補正予算のうち所管する事項

○審査結果

議案のうち、補正予算(一般会計、下水道、農集排、水道)、工事委託契約の締結、市道路線の認定・変更及び平成22年度歳入歳出決算(一般会計、下水道、農集排、JR大平下駅前土

地区画整理、医療福祉モール、水道)については、討論なく全会一致で原案のとおり可決すべきものと、工事請負契約の締結については、討論採決の結果、賛成多数で可決又は認定すべきものと決定した。

○質疑応答

一般会計補正予算  
質 渡良瀬運動公園災害復旧事業費の詳細な内容は  
答 硬式テニスコート3面の補修、園路舗装、敷地造成、雨水排水施設整備で出水期後に整備を行う。

工事請負契約の締結(総合体育館耐震補強工事)  
質 工事の開始時期は  
答 11月上旬のスポーツレクレーション大会終了後に開始したい。

質 入札の落札率は  
答 95・84%である。

工事委託契約の締結(市道O157号線「大平地域」)  
質 栃木県に委託する工事の内容は  
答 東武鉄道との跨線橋整備が主なものである。

市道路線の変更について  
質 寺尾牛落橋の完成は  
答 県が改修する事業であり、平成25年度末の完成予定である。

平成22年度一般会計歳入歳出決算  
質 栃木地域では、合併浄化槽設置補助事業が予算より決算額が多かったが申請分は全て対応できたのか  
答 補正予算で追加計上したほか、他の地域からの流用で対応した。

質 市道O157号線「大平地域」の進捗状況は  
答 平成22年度決算時点では20%程度である。

質 木造家屋耐震診断補助・耐震改修費の実績は  
答 耐震診断が5件で29万9千円、耐震改修が1件で60万円である。

平成22年度下水道特別会計歳入歳出決算  
質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

質 永野川西側、平井町及び栃木環状線西側の下水道整備計画は  
答 平成24年度からの事業認可区域に含める予定。

# 討論

最終日の採決時に、委員長の報告に対する賛成、反対の意見を述べ他の議員の賛同を求めました。

## 企業立地促進条例の制定

**反対** 白石 幹男 議員  
無会派

企業を誘致して産業の振興と雇用拡大、地域経済を発展させるという地域経済活性化政策は地域経済の活性化につながっていない。今後は、地域産業の担い手である中小企業や農家の育成を強化し、地域産業の実態に合わせた形で独自の産業政策を展開していくべきであり反対する。

**賛成** 慶野 昭次 議員  
新生会

企業が立地することで、雇用の方が生まれ定住人口が見込めること、法人税等の税収が得られるなど、地方自治体にとって企業の誘致はかかせない重要な課題である。地域間の誘致活動が厳しい中で本市に企業誘致をするには、企業にとって有利な立地条件が必要不可欠であるため賛成する。

## 工事請負契約の締結 (総合体育館耐震補強工事)

**反対** 白石 幹男 議員  
無会派

落札率は95.8%であり、また入札に参加した12社のうち8社が予定価格以上で失格し、4社のみが予定価格内という状況で、落札業者も工事現場に近い業者である。入札の競争性、透明性において疑念があり、入札の制度の早期改善を求める意味からも反対する。

**賛成** 高岩 義祐 議員  
平正会

条件付一般競争入札で、12社が入札に参加し、参加業者は、それぞれ旧1市3町にわたっており、地域性に偏りが無いことが既に確認されている。また、契約の相手方は、開札後の事後審査において、適正な参加資格を有しており、契約者としては、何ら問題になるものではないため賛成する。

## 一般会計歳入歳出決算

**反対** 白石 幹男 議員  
無会派

市民の暮らしがさらに厳しくなっており、こういう時だからこそ、地方自治体の本来の役割である住民の福祉の増進を図るという役割を果たさなければならぬが、今回の決算を見る限り、その役割を果たしていないといわざるを得ない。今の厳しい生活状況の中で市民生活を応援するものになっていないということから決算の認定に反対する。

**賛成** 高岩 義祐 議員  
平正会

合併後の調整が進行中の事務・事業も存在する中で、合併効果を最大限に生かすことを目指して、執行部が鋭意努力をした結果であり、国の厳しい経済状況を考えると、平成22年度の一般会計の単年度収支額は、約10億超の黒字となっており、財政運営状況は、健全なものであると思われるためこの決算に賛成する。

## 国保特別会計歳入歳出決算

**反対** 白石 幹男 議員  
無会派

国保税が高く滞納が増加した原因は国が市町村への補助を削減したためで、負担割合を元に戻すよう働きかけ、市も法定外繰入し市民負担を低減すべきである。

**賛成** 入野 登志子 議員  
公明党議員会

国保税の収納対策や補助金等の受け入れ、医療給付費等の支出も適正に行なわれており、今後共、国民健康保険制度の健全経営に向けた努力に期待し賛成する。

## 後期高齢者医療特別会計

**反対** 内海 成和 議員  
栃木創志会

後期高齢者医療制度を廃止させるには、地方から声をあげるべきであり、この制度に対して反対する。

**賛成** 入野 登志子 議員  
公明党議員会

国の現況制度での運用の下で、最大限努力しており、評価できるものであるため賛成する。

## 渡良瀬遊水地のラムサール条約登録関係陳情

**継続審査とすることに反対** 岡 賢治 議員  
新緑

渡良瀬遊水地は、栃木市の世界に冠たる財産であり、今回国土交通省と環境省が調整の上、住民への説明を共同で対応していることを考え合わせると登録に向けて進めるべきである。

## 継続審査とすることに賛成

萩原 繁 議員  
新生クラブ

ラムサール条約登録に関する説明が行われたが、地域住民が十分に理解し賛同しているとは思えず、アンケートを実施することなどなので、その結果住民の理解があつたことが示されるまで継続審査とすべき。

## 継続審査とすることに反対

内海 成和 議員  
栃木創志会

国交省と環境省の説明会では、治水も環境保全も担保するというところであり、ラムサール条約に登録してもマイナスはなく、渡良瀬遊水地の自然を守っていくことが私たちの責務である。

審議を行いました議案等の審議結果は以下のとおりです。(次ページへ続く) ○…賛成 ●…反対

議案番号	78号	127号	79号	80号	81号	82号	83号	84号	85号	86号	87号	88号	114号	115号	116号	118号	119号	120号	121号	
議案 議員	補正予算										表彰条例の制定	東日本大震災に対処するための 栃木市職員の勤務時間 休日及び休暇に関する条例 の特例に関する条例の制定	企業立地促進条例の制定	税条例等の一部改正	都市計画税条例の一部改正	工事請負契約の締結 (総合体育館耐震補強工事)	工事委託契約の締結 (市道0157号線)	財産の取得 (消防ポンプ自動車)	市道路線の認定	市道路線の変更
	一般会計(第4号)	一般会計(第5号)	国民健康保険特別会計	後期高齢者医療特別 会計	介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定 (保険事業勘定))	介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	下水道特別会計	農業集落排水特別会計	水道事業会計											
採決結果	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	
白石 幹 男 (無会派)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	
渡 辺 照 明 (無会派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高 岩 義 祐 (平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
海老原 恵 子 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
松 本 喜 一 (無会派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
増 山 敬 之 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
須 田 安 柙 (新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
入 野 登志子 (公明党議員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
福 富 善 明 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
広 瀬 義 明 (平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
氏 家 晃 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
福 田 裕 司 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大阿久 岩 人 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大 川 秀 子 (無会派)	議長のため採決には加わらない。																			
天 谷 浩 明 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
梅 澤 米 満 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大 島 光 男 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
長 芳 孝 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大 武 真 一 (栃木創志会)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中 島 克 訓 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
関 口 孫一郎 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平 池 紘 士 (黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
千 葉 正 弘 (栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大 出 三 夫 (平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
萩 原 繁 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
慶 野 昭 次 (新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
内 海 成 和 (栃木創志会)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
小 堀 良 江 (新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大 出 孝 幸 (公明党議員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
岡 賢 治 (新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
永 田 武 志 (平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

審議結果(続き) ○…賛成 ●…反対 —…退席

議案(認定)番号	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号	10号	11号	12号	藤岡町下宮地区の埼玉県加須市への編入を求める請願	線維筋痛症の難病認定及び医療費の助成等を求める請願	線維筋痛症の難病認定及び医療費の助成等を求める意見書	渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録に関する陳情書(継続審査とすることに賛否)	採択	採択	継続	可決
	平成22年度各会計歳入歳出決算の認定																			
議員	一般会計	国民健康保険特別会計	老人保健特別会計	後期高齢者医療特別会計	介護保険特別会計(保険事業勘定)	介護サービス事業勘定	下水道特別会計	農業集落排水特別会計	地域改善対策住宅新築資金等貸付特別会計	JRR大平下駅前土地区画整理特別会計	医療福祉モール特別会計	水道事業会計	採択	採択	継続	可決				
採決結果	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	採択	採択	継続	可決				
白石幹男(無党派)	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○				
渡辺照明(無党派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
高岩義祐(平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
海老原恵子(新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○				
松本喜一(無党派)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○				
増山敬之(新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○				
須田安柙(新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○				
入野登志子(公明党議員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
福富善明(新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
広瀬義明(平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
氏家晃(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
福田裕司(栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
大阿久岩人(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
大川秀子(無党派)	議長のため採決には加わらない。																			
天谷浩明(栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
梅澤米満(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
大島光男(栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
長芳孝(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
大武真一(栃木創志会)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○				
中島克訓(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
関口孫一郎(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
平池紘士(黎明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
千葉正弘(栃木創志会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
大出三夫(平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
萩原繁(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
慶野昭次(新生会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
内海成和(栃木創志会)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	●	○				
小堀良江(新生クラブ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
大出孝幸(公明党議員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○				
岡賢治(新緑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○				
永田武志(平正会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

※西方町との合併に関係する条例制定などの議案及び人事案件については、全会一致で可決いたしました。

# 請願・陳情

9月定例会では、新規に提出された線維筋痛症の難病認定及び医療費の助成等を求める請願書及び継続審査となっていた請願と陳情の審査を行いました。

## 藤岡町下宮地区の埼玉県加須市への編入を求める請願

藤岡地域下宮地区の住民の方から、下宮地区を加須市に編入を求める請願が提出され、12月定例会から継続審査となりました。

これまで、編入を求める住民や反対している住民の話を聞いたり、両方の代表の方と同じテーブルで話し合いを行ったりしてきました。

今回の総務常任委員会では、これまでの経過を加味し、各委員の意見を勘案して採決した結果、全会一致で採択すべきものとし、さらに、この請願を執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求することに決定しました。

本会議においても、この総務常任委員会の報告より可決いたしました。

## 渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録に関する陳情

藤岡町自然を守る会より渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録に関する陳情が提出され、12月定例会から継続となりました。

前回の民生常任委員会では、「環境省の意見を聞かないと結論は出せない。」などの意見が多く、環境省による説明会の開催を待つことになっていました。

今回、環境省と国土交通省による説明会が開催され、その中では賛成と反対の両方の意見が出たことから、民生常任委員会の審査では、市で実施するアンケート調査の結果を待つてから判断すべきではないかとの意見が多く、採決の結果、賛成多数で継続すべきものとし、本会議において継続審査が決定しました。

本会議において継続審査が決定しました。

## 線維筋痛症の難病認定及び医療費の助成等を求める請願書

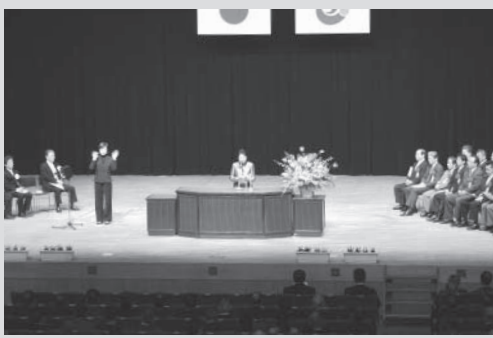
請願の内容『線維筋痛症とは、体の広範囲に激しい痛みがおこる原因不明の難病である。』

日本の線維筋痛症の患者数は約200万人と推定されているが、確立した治療法もなく、この病気の治療が一部保険適用外であることや国で難病指定されていないことで医療費等の負担が患者や家族に重くのしかかるため、障害者認定制度の改正、難病の認定、保険適用の一刻も早い実施を求める。』この請願は、民生常任委員会において全会一致で採択すべきものと決定し、本会議においても可決しましたので、国の関係機関に意見書を送付しました。

## 合併記念式典を開催

10月14日(金)午後1時30分より、栃木文化会館大ホールにおいて、西方町との合併記念式典が行われました。

式典では、合併功労者の表彰等のほか、アトラクションとして、西方なかよしこども園児によるダンスと歌や國學院大學栃木高等学校校応援部によるチアリーダーイングが披露されました。



また10月30日には、西方選挙区の市議会議員選挙が行われ3名の新議員が誕生いたしました。

## 新議員の紹介

西方選挙区で当選された議員3名をご紹介します。届出順

- ①氏名
- ②住所
- ③電話番号
- ④生年月日



① 鮎田 博

- ②西方町金崎 340-1
- ③92-2233
- ④昭 18. 12. 2



① 針谷 正夫

- ②西方町金崎 734-2
- ③92-2107
- ④昭 27. 1. 15



① 鮎田 栄一

- ②西方町金井 862
- ③92-2671
- ④昭 24. 2. 4

# 議場コンサート

9月定例会の議場コンサートは、9月6日(火)に、稗田遼子さんによる語り(演目「大蛇伝説」)が披露されました。

稗田さんは、「“語り”を通して人の役に立ちたい、誰かのために語りたい。」と思い、18歳のころから活動を始め、多数の全国朗読コンクールにて受賞しています。

今回の演目の「大蛇伝説」は、栃木市、下野市、小山市に広く伝わる伝説で、下野市では「花見が丘」小山市では「蛇骨塚」という題で地元伝説書に描かれています。



# 議会報告会を開催します。

栃木市議会では、平成24年1月16日から議会基本条例に基づく議会報告会を開催します。開催時間は、全日とも午後7時～午後9時になります。

詳細は、あらためてお知らせいたします。

- 1月16日(月) 栃木地域 大宮公民館
- 17日(火) 栃木地域 吹上公民館
- 18日(水) 都賀地域 都賀公民館
- 19日(木) 大平地域 大平公民館
- 20日(金) 藤岡地域 藤岡公民館
- 23日(月) 都賀地域 南部コミュニティセンター
- 24日(火) 大平地域 南地区公民館
- 25日(水) 栃木地域 第6地区コミュニティセンター
- 26日(木) 栃木地域 文化会館小ホール
- 27日(金) 西方地域 真名子夢ホール
- 30日(月) 西方地域 西方公民館
- 31日(火) 藤岡地域 部屋地区公民館

# 議会を傍聴してみませんか。

12月定例会は、11月25日(金)開会予定です。詳しい日程については、議会運営委員会にて決定しだい、新聞折り込み等にてお知らせします。詳しくは議会事務局まで、電話 21-2253

# 議会のうごき

## 7月

- 1日 議会広報紙発行特別委員会
- 8日 各会派代表者会議
- 12日 各会派代表者会議  
議員研究会  
議会広報紙発行特別委員会
- 21日 友好親善都市盟約書調印式(北海道滝川市)
- 28日～29日 議会運営委員会視察(静岡県掛川市、島田市)

## 8月

- 3日 各会派代表者会議  
県南6市議長会研修会
- 12日 議会改革検討委員会
- 18日 議員全員協議会  
議員研究会
- 19日 議員研修会
- 25日 議会運営委員会  
議会改革検討委員会  
議会政治倫理条例検討委員会  
議会報告運営委員会
- 29日 議員全員協議会
- 30日 議員全員協議会
- 31日 議員全員協議会

## 9月

- 2日 本会議(初日)  
議員全員協議会
- 6日 本会議(一般質問)  
議会報告運営委員会
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)  
議員全員協議会  
議会報告運営委員会
- 12日 総務常任委員会
- 13日 民生常任委員会
- 14日 産業教育常任委員会
- 15日 建設常任委員会
- 22日 会派代表者会議  
議会運営委員会
- 27日 本会議(最終日)  
議会広報紙発行特別委員会  
各会派代表者会議

# 広報紙発行特別委員会

表紙では、「西方なかよしこども園」の園児達が、みんな仲良しと精一杯元気に歌って踊ってくれました。私達広報委員会は、皆様に議会の様子をわかりやすく・読みやすく・そして愛される「とちぎ市議会だより」を目指して編集していきます。

- 委員長 白石 幹男
- 副委員長 氏家 晃
- 委員 増山 敬之 須田 安祐
- 入野登志子 天谷 浩明
- 長 芳孝 永田 武志